

デジタルワイヤレスマイクロホンシステム コントロールソフトウェア

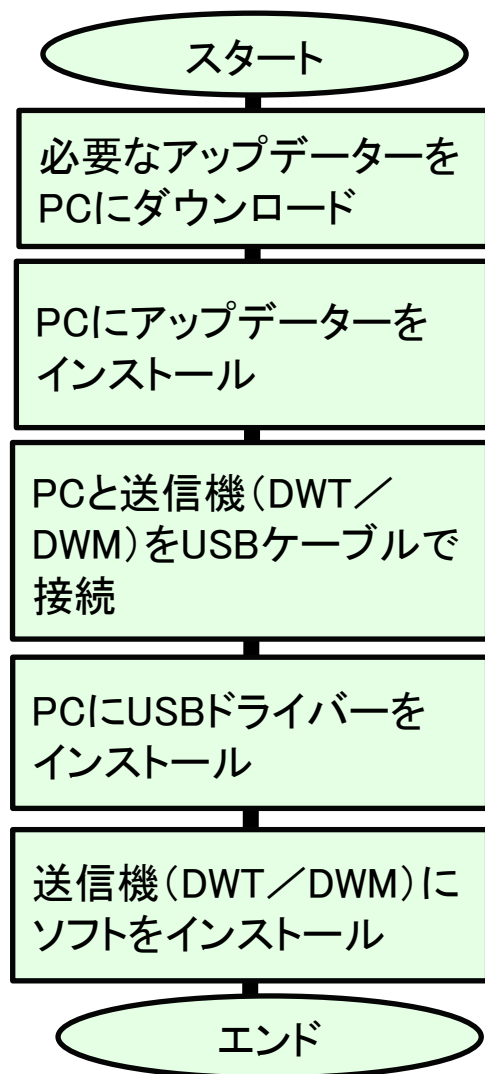
Wireless Studio のバージョンアップについて
作業の流れ

DWR-R02DN/DWR-S02DN/DWR-P01DNを
中心としたシステム

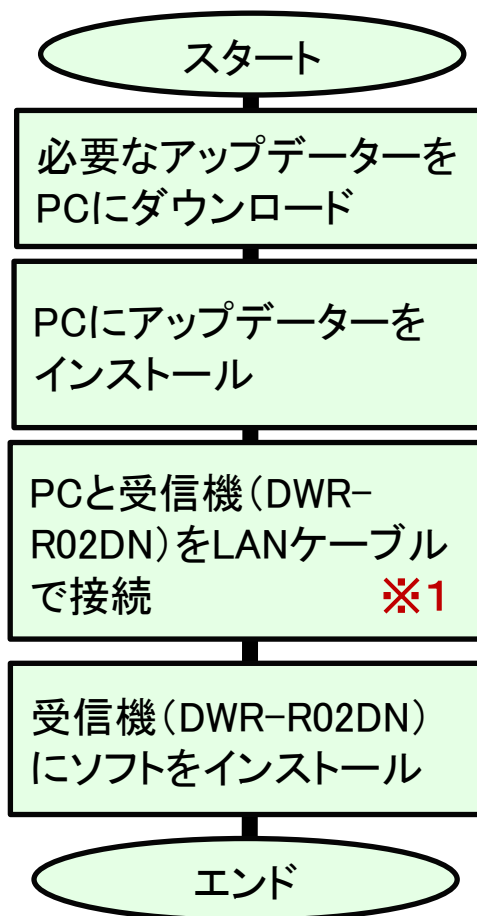
- Wireless Studio Ver.4.0を使いたい時
- MODE3を追加したい時

V.UP 作業の流れ

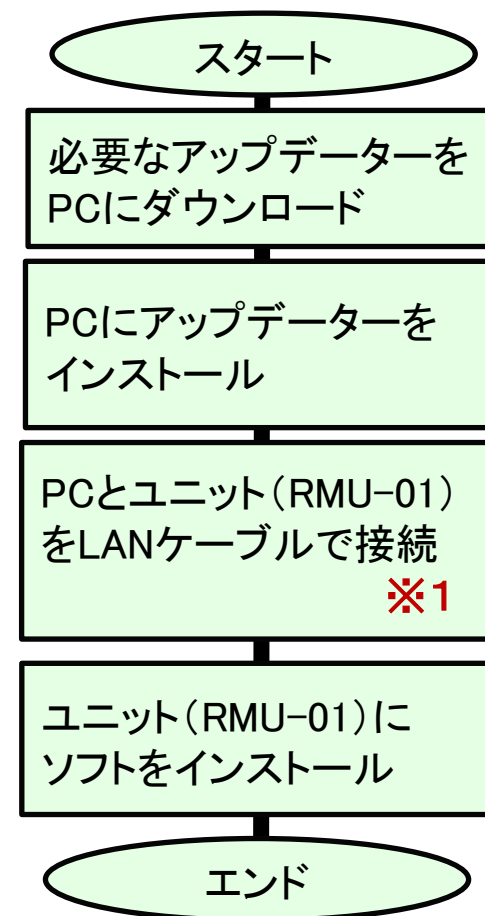
DWT-B01N、DWM-02N



DWR-R02DN



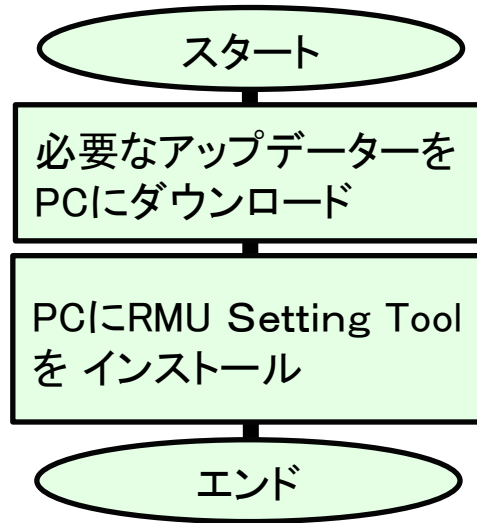
RMU-01



※1 HUB経由の接続時は、ストレートケーブルで、ダイレクト接続時は、クロスケーブルで接続して下さい。

V.UP 作業の流れ

RMU Setting Tool



Wireless Studio



※2 使用可能なPCは、次ページ以降となります。

ソフトウェアの動作条件

ワイヤレススタジオは、以下の条件を備えたコンピューター上で動作するように設計されています。

項目	条件
<u>OS</u>	Windows Vista (SP2 以降) / Windows 7 (32bit/64bit) / Windows 8 (32bit/64bit)
CPU/RAM	接続するデジタルワイヤレスレシーバーの台数により、推奨スペックが変わります。
グラフィックカード	ビデオメモリ 128 MB 以上を推奨
ハードディスクの空き容量	1 GB 以上
モニター	1024 × 768 ドット以上を推奨
その他	英語表示が可能なこと 100Base-TX LAN カード CD-ROM ドライブ

推奨スペック

接続するデジタルワイヤレスレシーバーの台数別に、コンピュータの推奨スペックを以下に記載します。

コンピュータを用意する際に、参考にしてください。

デジタルワイヤレスレシーバーを 16 台まで接続する場合

CPU : Celeron 1.8 GHz 以上

RAM : 760 MB 以上

デジタルワイヤレスレシーバーを 24 台まで接続する場合

CPU : Dual CPU 1.8 GHz 以上

RAM : 1 GB 以上

デジタルワイヤレスレシーバーを 32 台まで接続する場合

CPU : Pentium Dual-Core CPU 2.60 GHz 以上

RAM : 2 GB 以上

デジタルワイヤレスレシーバーを 41 台まで接続する場合

CPU : Core i5 2.67 GHz 以上

RAM : 4 GB 以上